

港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）に寄せられた区民意見について

1 区民意見募集（パブリックコメント）

- (1) 募集期間 令和2年12月1日～令和3年1月5日
(2) 人数・件数

区分	港区一般廃棄物処理 基本計画（第3次）	（参考掲載） 港区環境基本計画
人数	1人	2人
うち郵便	0人	0人
インターネット	1人	2人
FAX	0人	0人
持参	0人	0人
件数	1件	6件

※港区環境基本計画欄は、港区環境基本計画（素案）の循環型社会分野への意見の数です。
港区環境基本計画（素案）への意見（資料No.8）に数が含まれていますので参考掲載としました。

※件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

※港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）の概要説明動画の視聴回数は70回でした。

2 区民説明会での参加者意見

- (1) 開催期間 令和2年12月5日～同月16日
(2) 開催回数・参加者数・件数

開催回数	7回
参加者数	10人
件数	2件

※港区環境基本計画（素案）と合同で区民説明会を実施しました。

※各地区の参加者数は以下のとおりです。

芝地区：5人、麻布地区：3人、赤坂地区：2人、高輪地区：0人、芝浦港南地区：0人

※港区環境基本計画（素案）に寄せられた意見は含みません。

3 3R推進行動会議での意見

- (1) 開催日 令和2年12月4日（書面会議）
(2) 開催回数・回答者数・件数

開催回数	1回
回答者数	7人
件数	28件

**「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）」
に寄せられた区民意見
（区民意見募集（パブリックコメント））**

No	区民意見	区分
1	日本では世界でも類をみないほどごみの焼却を行っている。港区はドイツ並みのリサイクルを行って、焼却ごみを減らす。	インターネット

(参考)
「港区環境基本計画(素案)」
に寄せられた区民意見

(区民意見募集(パブリックコメント)から循環型社会分野に関わる意見を抜粋)

No	区民意見	区分
1	素案42ページのプラスチックの使用抑制と資源循環について、mecccのような組織で、費用が発生しないもっとライトな組織形態を作って区民、事業者を巻き込んで達成に向けて行動していきたい。	インターネット
2	全体的に、SDGsアイコンが小さくて全く目に入らない。アイコンはいらないのでは。もしくは前半にもっと明確にSDGsアイコンごとの説明等を載せて、SDGsの項目1つ1つの意味を区民に本気で知らせるかどちらかだと思う。中途半端にアイコンを入れても意味がない。	インターネット
3	プラスチックの健康や環境への影響を伝え、プラスチックの使用についての適切な判断ができるよう促すこと。	インターネット
4	区内の飲食店からのテイクアウト、野外イベントの飲食において、消費者が持参した容器でも提供を受けられるよう、提供側の受け入れと工夫を推奨すること。バイオプラスチックなどの代替の素材を推奨するだけでは不十分である。容器持参が普通である社会にしていくべきである。	インターネット
5	区内のコンビニや自販機における飲料ペットボトルの販売を軽減していく取組を要望する。区内のペットボトル飲料の生産者、販売者と調整しながら、販売量を減らしていく必要がある。	インターネット
6	各施策に共通することであるが、プラスチック問題、食品ロス問題、資源の問題など、各課題や行動ごとの普及啓発ではなく、地球全体の環境、生態系サービス、健康にどのように被害があるのか、それを起こしているのは、大量生産、大量消費の私たちの社会生活であることがわかるような教育・啓発を要望する。これまで通りの生活様式では、ごみは減らないし、資源の十分な循環は望めない。地球環境が脅かされることを多面的に教育、啓発する必要がある。	インターネット

**「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）」
に寄せられた区民意見
（区民説明会での参加者意見）**

No	区民意見	区分
1	資源化率の目標値を50%と設定しているが値が低いのではないか。ごみと資源の分別状況の目標値も大幅な増加が無いように見える。全体として目標値が低い設定となっていないか。	区民説明会 （芝）
2	各目標値は達成が難しいのではないか。また、目標値が総量で設定されているが、人口変化の影響を大きく受けるため1人あたりの数値で目標設定すべきではないか。目標値設定に対する考え方を伺う。	区民説明会 （麻布）

**「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）」
に寄せられた区民意見
（3R推進行動会議委員（パブリックコメント））**

No	区民意見	区分
1	プラスチックに関して、コロナの拡大でフードデリバリーやテイクアウトが増え、プラスチック容器が増えている印象だ。 今後はより一層、様々な場合でのプラスチック削減の取組みや、代替製品の開発・利用の促進等が重要だと思う。	郵送
2	フードロスに関して、一人ひとりが当事者意識を持つことが重要。 コロナの影響で、食生活も変わってきている。コロナの影響を分析し、新たな視点で、食品ロス対策を見つめ直す必要がある。	郵送
3	知り合いで3Rについて知っている人がほとんどいないので、いかに一般区民に広報するかが大切だと思う。	郵送
4	概要は、必要情報が一目でわかるようになっていて大変よい。 より詳しく知りたい区民や関係者には、本編の頁表示があり親切。 特に数値目標の設定に当たっての解説は重要であり、納得できる。 新計画は、チャレンジングな大変頼もしい内容で、今後のアクションプランに期待する。	郵送
5	一人ひとりが心がけて減量に臨まなければ達成が望めないと感じた。毎日の小さな積み重ねを皆で協力していきたい。 コンビニで消費期限の見直しがされた事は「食品ロス」として大変に寄与することと思っただ。	郵送
6	5ページ以降の図において、平成＝H、令和＝Rと短縮表記されているが、わかりづらい。	郵送
7	港区の状況について、外国人籍が多い、転入出者が多い、昼間人口が多いことなども関連要素として含めてはどうか。	郵送
8	8ページのグラフの表示について、R3を「R3目標」としてはどうか。	郵送
9	9ページの1行目の「特別区」について、解説を入れてはどうか。	郵送
10	9ページの下から4行目にある排出実態調査は、大変興味深いし、区民・事業者への啓発になるよい内容だと思う。実際に不適正排出だったごみの写真も掲載してはどうか。	郵送
11	19ページの埋立処分場の写真について、「中央防波堤外側埋立処分場」と「新海面処分場」が分かるよう、写真中に図示してはどうか。	郵送
12	事業系ごみ中の大半を占める「その他紙類(ミックスペーパー)」とは事業者から排出される紙に限っての表現なのか。 「雑紙」から「その他再生可能紙」への名称変更は「ミックスペーパー」とは別になるのか。	郵送
13	29ページの「ごみ減量アドバイザーの派遣」の「実量測定」という言葉を、「ごみの自主計量」に変えるのはどうか。	郵送

「港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）（素案）」
に寄せられた区民意見
（3R推進行動会議委員（パブリックコメント））

No	区民意見	区分
14	32ページの「港区役所『使い捨てプラスチック』削減方針」の内容についての記載はあるか。	郵送
15	33ページに屋外型ボトルディスペンサー式飲栓の設置とあるが、給水スポットマップもある場合は併せて案内があるとよい。	郵送
16	34ページのコラム「容器包装リサイクル制度の問題点」の③について、リサイクルが容易な「製品開発」の表現は、「製品設計」の方が一般的。	郵送
17	48ページの（6）安全・安心・便利な清掃事業の運営と収集サービスの改善の「ごみ・資源の処理フロー」図は、色を濃くしてほしい。	郵送
18	リチウムイオン電池の危険性について言及してほしい。	郵送
19	SDGsの意味を明確にわかりやすく記載してほしい。	郵送
20	SDGsの各目標のアイコンを、ロゴとして啓発に使用してほしい。 ・「プラスチックの使用抑制と資源循環」の啓発に「SDGs目標14海洋資源」 ・「食品ロスの削減」の啓発に「SDGs目標2飢餓」 ・「資源回収の拡大」の啓発に「SDGs目標12持続可能な消費と生産」 ・「持続可能な集団回収制度の構築」の啓発に「SDGs目標8経済成長と雇用」	郵送
21	食ロス法によって、食品ロス削減の取組が一気に進んだ。海洋プラスチック汚染問題も広めるために、都や国に働きかけてほしい。	郵送
22	清掃工場の稼働について、人口の増減、景気に関係なく柔軟な取組をしてほしい。また、この考えを東京二十三区清掃一部事務組合と共有してほしい。	郵送
23	港区は、可燃ごみは家庭ごみより事業系持込ごみの方が多いので、3Rの発生抑制に力を入れてほしい。事業者にも、清掃工場や埋立処分場を見学して埋立場所のひっ迫している状況等を知ってほしい。	郵送
24	災害時に、壊れた家具や電化製品をどこへ持って行ったらよいかわからない。また、他区・他県の災害ごみの清掃工場への受入れについて、区として東京二十三区清掃一部事務組合に主体的に申し入れをしてほしい。	郵送
25	プラスチックの可燃ごみ混入率が減っていないので、混入率の少ない工場の広報などを参考にするといい。	郵送
26	他区も港区のような分別になるよう、地球温暖化の問題として取り組むようリーダーシップをとってほしい。	郵送
27	数値目標について、開示方法・公表回数など、区民や事業者の意識改革・行動変容を促す効果的な手段で取組を実施すべき。	郵送
28	生活排水処理基本計画について、大規模再開発が多く事業・家庭の排水の急増が懸念される。今後も問題なく処理されていくのか、中長期の見通しについて情報開示を希望する。	郵送